

北播磨広域定住自立圏共生ビジョンの成果指標等の設定についての意見に対する対応について

■成果指標等の設定に対する意見

通 番	共生ビジョン別冊（案） 該当箇所		意見内容	意見に対する対応等
1	P6	7 文化・スポーツ施設相互利用推進事業	グラウンドゴルフのチャンピオンシップ大会の開催は意義があると思うが、早急に連絡協議会を立ち上げ、幅広い参加者の交流事業等を企画する必要があると考える。	指標に関しては原案どおりとします。 4月に連絡協議会の立ち上げについて、圏域市町担当で検討を行います。
2	P12	20 公共交通広域連携調査研究事業 21 公共交通利用促進事業 施策単位で指標設定	路線バスの利用人数として、国・県補助路線を対象とすることについては賛同するが、補助要件から外れるなど、対象路線数が年度によって変動する可能性がある。 よって、適切な各年の推移を比較できるように、平成 27 年度（基準値）に対象とした路線を次年度以降も目標値の対象としていただきたい。	指標の設定理由に平成 27 年度の補助路線を対象とする説明を追記します。

北播磨広域定住自立圏共生ビジョンの成果指標等の設定についての意見に対する対応について

■その他意見

通 番	意見内容	意見に対する対応等
1	生活機能の強化において、(1) 医療「②医療連携の強化」、(3) 教育「②質の高い教育環境の整備」、(5) 産業振興「①鳥獣被害防止対策の推進」、(6) 生活「①広域防災体制の整備強化、②水道事業の広域連携」、結びつきやネットワークの強化において、(1) 地域公共交通「①地域公共交通の広域連携」など、成果指標の目標値が全体的に低い設定であると感じたが、現実に即したものであろうと理解した。	今回設定する成果指標（KPI）の達成状況等を踏まえ、施策や事業の取組について、市が自ら行う内部評価と共生ビジョン懇談会における外部評価を基に、必要に応じて改善や見直しを行います。
2	高齢化が進んでいることから、次のことがより一層必要であると考えます。 <ul style="list-style-type: none"> ・就農人口が減少していることに伴う休耕田対策 ・元気な高齢者を増やすための高齢介護者対策 ・猟銃保有者数が減少していることに伴う野生鳥獣対策 ・認知症患者の増加に対応するための気軽に相談できる窓口等の施設の設置 ・高齢者が加害・被害者となる事件等の増加に伴う福祉対策の推進 	将来推計人口や展望人口は、各市町の人口ビジョンからの転載であり、別冊としては原案どおりとします。 高齢化に伴いあらゆる課題に直面しますが、今後、計画を推進していく中で、圏域市町で連携したほうがより効果的・効率的である施策や事業については、いただいた意見を参考にしながら連携の強化・拡充に努めます。
3	兵庫県の人口は減少傾向であり、特に、淡路・但馬・西播磨・丹波・北播磨で減少率が4%に達し、地域間格差が拡大する中で、県では人口減少対策に重点を置いている。 推計人口資料から当圏域の人口の減少率を10年・20年のスパンで見ると、10%・20%となっている。 このように人口減少に歯止めがかからない以上、行政は近隣地域との交流を加速させながら、あらゆる分野でさらなる広域連合化（統廃合も含めて）を図る必要があると考える。	ご指摘のとおり人口減少に伴い、自治体単位で全ての生活機能を備えるフルセット型の行政運営システムからの転換が求められています。 本圏域においては、3市1町が連携し、共生ビジョンに掲げた28事業の取組を推進しているところですが、今後、評価、検証の結果、状況変化等を踏まえ、必要に応じて、連携したほうがより効果的・効率的である事業の追加、取組内容の見直し等を行います。また、人口減少対策については、圏域市町だけでなく県とも連携しながら取り組んでいきたいと考えています。